

ここが聞きたい 一般質問

③ワーキングチームと男女共同参画サポーターの役割と活用方法。

市長 条例制定は十八年度を目途にまた事業推進として講演会やセミナー・研修等意識の醸成を図る。

女性人権擁護員による、相談所を毎月開設。

ワーキングチームを設け条例や計画作りには、県の養成講座の認定者であるサポーターの皆さんや市民の声を聞きながら取り組む。

今後市行政関係の女性登用率は四年以内四割を目標に努力する。

質問 介護保険について。

今後介護保険料の増加が懸念されることから、不安解消を考え質問致します。

①介護保険の財政上、保険料の滞納者と金額の対策。

②三年後見直し時の保険料の見通しと「元気老人」対策。

③基盤整備にかかる課題と第三期事業計画の概要について。

市長 滞納対策は徴収員を配置するなど制度周知を行い、住民理解を深め訪問や電話等収納に努力。保険料の上昇を食い止めるには、要介護にならない等支援事業の推進、補助金から交付金に変わり過剰整備にならないよう慎重に計画。今年度整備は特養一ヶ所等々予定。

○新市のまちづくり方針について
○水沢病院の運営改善について



ただし 渡辺
議員

質問 新市のまちづくり方針と基本姿勢について伺いたい。

市長 新市建設計画事業の見通しは基金対応で四二億五千万円余りで、十六・八%の状況である。各区のバランスのとれた施策実施にむけて今後努力していく。

行財政改革については、節約型にとどまらず、市民を顧客としてとらえ、事業を評価しながら、まちづくりを進めていく。又、民間経営感覚をとり入れ積極的に外部評価を実施していきたい。

質問 総合水沢病院の経営実態と運営改善対策について伺いたい。

市長 十七年度決算見込で五億二千万円余りの欠損金が発生した。医師不足が大きな要因で、現在、東北大学医学部等に医師派遣を要請している。

今後の経営改善対策について、限られた医師数で、どのような医療を提供するか、県と市の枠を超えた対話が必要である。

県立病院との機能分担や連携のあり方を検討することが必要である。

今後共、人件費の削減等を更に検討しながら、奥州市の医療体制を確立していく必要がある。

○小学校の英語教育について
○選挙について
○緊急時の出動体制について



こうじ 佐藤
議員

質問 市長の議会に対する考え方について。

市長 地方分権化の二元代表制を踏まえて、まさに車の両輪として議会とはお互いに尊重しながら又協力しながら新奥州市の発展に努力する。

質問 小学校の英会話授業について。

市長 「まず国語をしっかり」という意見もあるが、英語は今や国際語で幼い時から英語に親しむ必要がある。各学校の事情にもよるが遅くても二期からスタートしたい。三年生以上の総合学習の時間に、歌やゲーム、簡単な挨拶程度のあくまで英語に親しむということを主眼としたい。

質問 奥州市長及び議会議員選挙の開票作業について。(開票が遅れた原因と今後の取り組みは)

選管委員長 合併後初の選挙、八万票を超える投票数、期日前投票が一万一千を超えたためそのす

り合せなど不慣れであった。多摩市など先進地研修などして正確、迅速な開票作業に努める。来年が勝負と考える。

質問 火災時における消防車、救急車の出動体制はどうなっているか。(愛宕における火災の際、消防車、救急車の現場到着が非常に遅かったが)

市長 江刺消防署において消防車二台が出動すると、救急車を運転する人がいなくなる。今回も水沢から出動した。今後人員配置など考える。訓示をして一分、一秒でも速く現場にかけつけ市民の信頼に答えられるよう気持を引き締める。

(メイプル再開による)
中心市街地活性化について
水沢駅前と駅東の土地活用について



まさかず 宮家
議員

質問 リニューアルオープン後、メイプルと中心商店街は、集客や売り上げ増進のためにPR・イベントや企画等の営業が実施されているか伺います。

市長 企画PRは各テナント毎であり、メイプルとしての一体的な企画PRは少ないと感じられます。メイプルと各テナントの合同会議などを開催し集客に向けた努